

名古屋大学オープンアクセスポリシーにおける 公開方法のご案内

ポリシー制定後に出版された学術論文は、原則オープンアクセスで公開することが求められています。公開方法は著者が選べます。

選 択 肢

※ 選択肢1・2の場合は、名古屋大学からオープンアクセス費用（APC）の補助を受けられる場合があります。詳しくは裏面をご覧ください。

1 オープンアクセス誌に掲載する

- ・ 出版社・学会Webサイト・J-STAGEで無料公開されている雑誌
- ・ PLOS ONEなどオープンアクセス出版社等の雑誌

※ オープンアクセス誌リスト：DOAJ: <https://doaj.org/>

2 APC（掲載料）を払ってオープンアクセスにする

論文投稿時に追加の掲載料を支払うことで、投稿論文をオープンアクセスにできる場合があります。

3 PubMed Centralなどの学外のリポジトリに登録する

研究分野によっては研究者が登録できるリポジトリがあります。

4 名古屋大学学術機関リポジトリに登録する



リポジトリへの登録手続き

① 共著者から登録の許諾を得る

② 査読後の最終稿（PDF）と論文情報をWebフォームもしくはメールでリポジトリ担当へ送付

（電子ジャーナルのPDFなど、出版社版は一般的に登録許可されていません）

以上で登録手続きは完了です。

※ 図書館で出版社のオープンアクセスに関する方針を確認後、リポジトリ登録の可否や登録論文URL等を申請者にメールでご連絡します。

登録申請Webフォームの入口は[こちら](#)

メールでの登録申請宛先：lib-os@t.mail.nagoya-u.ac.jp

◆ご案内◆

● オープンアクセスポリシー紹介Webサイト

名古屋大学オープンアクセスポリシーの詳しい説明については、下記紹介サイトをご覧ください。

名古屋大学オープンアクセスポリシー

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/index.html>

● ポリシー適用除外申請も可能です

- ・出版刊行の妨げになるためオープンアクセスにできない
- ・共同研究者・研究対象者との契約でデータを公開できない

などの理由により、論文のオープンアクセスポリシー適用除外を申し出ることができます。

● 図書館から教員の皆さまに登録依頼をします

図書館では、名古屋大学オープンアクセスポリシーの対象となる論文について、教員の皆さまにリポジトリ登録の依頼をします。

● オープンアクセス費用（APC）の補助制度があります

名古屋大学では、研究者の方がオープンアクセス出版を容易かつ安価に行えるよう、複数の出版社と様々な契約を結んでいます。詳しくは下記紹介サイトをご覧ください。

名古屋大学オープンアクセス出版支援

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/oap/apc.html>

お問合せ先： 名古屋大学附属図書館 情報管理課 電子リソースグループ

【リポジトリ登録申請・オープンアクセスポリシー関連】

E-mail : lib-os@t.mail.nagoya-u.ac.jp (オープンサイエンス担当)

【オープンアクセス出版支援（APC補助）関連】

E-mail: lib-ers@t.mail.nagoya-u.ac.jp (雑誌担当)